

R5 1学期終業式 校長の話 7月25日

今、3名の作文発表がありました。1年1組 伊藤涼香さんは、「1学期に自分自身が大きく変わったこと」として、「クラスの人が話しかけてくれたお陰で今では入学した頃が嘘のように自分から積極的に色々なことをやれるようになった」こと、そして女バスの日々の練習を通して確かな上達を感じられるようになったことなど1学期を通してがんばった自己の高まりや成長をしっかりと伝えることができました。

2年1組 赤羽海音さんは、「1学期に頑張った経験と体験」として、職場体験で色々な人と接することで感じた「人とコミュニケーションをとることの大切さ」と、仙丈ヶ岳登山で、疲れて弱音を吐きそうだったときに「仲間の支えや励ましにより頑張ることのできたうれしさ」を伝えてくれました。

3年1組 北原沙彩さんは、修学旅行で「中学に入って初めて友と宿泊が叶った幸せ」や、生徒会役員としての活動で感じた「大変さとやりがい」、部活動を最後まで頑張っていてやり遂げたいという強い思い、さらに2学期には「部活や生徒会と両立させながら志望校合格を目指して受験勉強に励みたい」という決意をしっかりと語りました。3名の発表からも、本当に努力し充実した1学期だったことが伺えます。みなさんはどうだったのでしょうか？

さて、私は、4月の始業式で、イチローさんの姿から学んだこととして、「小さな努力をコツコツと続けること」、「多くの体験から学び心の視野を広げること」、「苦しさから逃げず立ち向かっていくこと」と、学校教育目標「学則得」を大切に、学びを単なる知識で終わらせるのではなく自分の心の成長につなげること、学んだことを生活や社会の創造や貢献につなげていくこと等をお話しました。1学期73日間を振り返ってどうでしたか？

1年生は、中学生として初めて過ごした1学期でしたね。5月に行われた宿泊体験学習のキャンプファイヤーでは、みなさんの素晴らしさの一端を見ることができました。学習・レク係が先頭となって、みんなで協力して精一杯盛り上げようとする姿、また行事後の反省会では「まだ先生たちの指示が多かったので、今後はさらに指示される前に自分たちで考え、声をかけたり行動したりしていきたい」とみんなで確認し合う姿から、私は「自分たちで主体的に物事を見直し向上していけるエネルギーのある1年生だな」と感心しました。1学期、慣れない中学校生活、大変なことも多かったと思いますが本当に頑張りましたね。2学期は、さらにその姿を全校の中で発揮していくことを期待しています。

2年生は新入生を迎え、頼もしい先輩としての姿が学校生活の様々な場面で見られました。また、先日行われた仙丈ヶ岳登山では、みなさんの確かな成長を実感しました。天候が悪い中でも諦めず「頑張ろう」と前向きに仲間同士で励まし合い声を掛け合いながら歩き切る姿、また、任された係の役割を疲れた中でもきちんと果たそうとする姿です。さらに、部活動でも運動部では3年生から活動が引き継がれてさっそく2年生が先頭に立って練習をリードする姿があります。2学期はさらに学校の中核として3年生を支え全校を盛り上げていく2年生の姿を期待しています。

3年生は、日常の生活だけでなく、生徒会活動、部活動にと「学校の顔」としての自覚と責任をもった姿がたくさん見られました。4月の修学旅行は本当に楽しかったですね。全員でその楽しみを大事にしていこうとする3年生の姿がたくさん見られました。訪問先では様々な展示物にじっくり時間をかけ見入る姿、また、雨が降ったり大混雑で予定が変更になったりしても、誰も文句ひとつ言わずに、その状況を受け入れ、その中で最善を尽くそうとする姿など。これは、行事だけでなく日々の生活の中でも言えることです。黙々と「清掃不言」を実行する姿。地域では横断歩道を渡ってから振り返って車に挨拶する姿の中には、いつも3年生がいました。まさに「挨拶愛語」を地域の中でも実践する姿です。こうした地味だけれど基本的なことをしっかり行う3年生の姿があったからこそ、この1学期、学校全体が落ち着いた状態で終えられたのだと思います。2学期はいよいよ聖桜祭があります。そして3年生は、この夏休みを起点に自分の将来・進路に真剣に向かい学習していく時期を迎えます。自己の目標を具体的に定め、苦手なものから逃げず、自分としっかり向き合い、進路を切り拓いていく3年生の姿を期待しています。

さて、明日から夏休みとなります。部活動や生徒会活動など、学校の予定もいくつもあるかと思いますが、夏休みの生活について、私から1つ提案をしたいと思います。それは、いつもよりほんの少しだけ時間をかけ、自分の好きなことや興味のあることにチャレンジしたり、苦手なことに努力したりしていきましょう ということです。

そこで、参考にしてほしいのが **1. 0 1の法則** というものです。「1. 0 1」はもちろん数字です。1は今の状況。そして、0. 0 1は、その1にほんの1%だけ付け加えたものです。これを1日の生活に置き換えてみましょう。今まで通りに1日をふつうに過ごすことが「1」だとしたら、そこにわずか1%の努力をプラスしてみます。多分みなさんは、なんだ、たった1%だけ?と思うかもしれませんが、それを毎日続けたらどうなるのでしょうか。では、実際にかけ算をしてみましよう。

$(1.01 \times 1.01 \times \dots \times 365 \text{回})$ なんと365日分を掛けると、**約37. 8**となります。

次に、その反対もやってみましよう。 毎日、0. 0 1分だけ努力を怠って見たとします。つまり、 $1 - 0.01 = 0.99$ 。 その0. 99を365回かけてみましよう。結果は、**約0. 03**です。

最初のスタートの時点では、1. 0 1と0. 0 9の差は、わずか「0. 0 2」でしたが、それを365日繰り返すと、**37. 8** と **0. 0 3**という大きな差になってしまうのです。夏休みについても同じように考えてみましよう。夏休みは28日なので、1. 0 1を28回分かけると、約1. 33、 0. 99では、約0. 74となり、もうすでに、0. 59の差が生まれてしまうのです。

これが、**1. 0 1の法則** と呼ばれているものです。みなさんに伝えたかったのは、ちょっとした努力を毎日積み重ねることが最終的には大きな成果をもたらすのです。そして、その逆も言えるということです。

202307/25

ぜひ、この夏休み、「1.01の法則」を生かして生活してみてください。大切なのは、「何」に取り組むのかという目標をしっかりと持つこと。そして1日目に必ず取りかかってみること。そして、それを毎日続けること。ポイントは、0.01のほんのちよつとの努力を続けてみることです。

明日からの夏休み、家族・地域の一員としてしっかり過ごすとともに、交通安全、水の事故にはくれぐれも気をつけ、学習や部活動、生徒会活動、そして自分の趣味や課題に挑戦する、充実した28日間になることを願っています。2学期、8月23日、またここで、全員で、元気に会いましょう。